

西大和つうしん

2017年10月号
No.424



雪彦山下山路の展望台より望む地藏岳 <2017年9月10日>

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第424号(2017年10月号)

【目次】

10月度山行計画	1
11月度山行計画	2
10・11月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・自主山行 《8/16-20》 北アルプス 槍ヶ岳～南岳(杉森・船江・亀高)	5
・自主山行 《8/23-24》 北アルプス 針ノ木岳(杉村・野路)	8
・例会山行 《9/3》 台高山脈 搜索訓練三峰山周辺(上田)	10
・自主山行 《9/9-12》 北アルプス 西穂高岳～奥穂高岳(野路・島崎・杉村)	11
・例会山行 《9/10》 兵庫の山 雪彦山(橋本)	14
室内例会だより(8/27)	15
運営委員会だより(9/16)	16

10月度山行計画

～剣豪の里、柳生街道を歩きましょう～

例会山行1 柳生街道 《剣豪の里 滝坂の道》

【日程】10月1日(日) (L村田)

【集合】JR奈良駅バス16番のりば8:11 → 近鉄奈良駅バス4番のりば8:19
石内(梅の郷)行に乗車 → 「大柳生」下車

【コース】柳生バス停～家老屋敷～芳徳寺～南明寺～忍辱山～滝坂の道(地獄谷)
～近鉄奈良駅

※歩行時間：約6時間 歩行距離：21km

※いにしえに思いを寄せ 里山をゆったり歩きましょう。

当初予定していました奥高野の“清水ヶ峰”は平成23年・26年の台風により、登山口の教育大の研究施設及び橋が、崩壊・流失しており、復旧されていません。目下は入山規制です。行き先を変更します。

教育部主催「教育講座」第2回

(参加者は9月27日の室内例会で募集)

- 【日 程】・座 学：10月06日（金） 《講師：藤本》
・実技山行：10月14日（土）～15日（日） 《L：野路》

【テーマ】テント泊

無雪期のテント泊について、装備、食糧、コース選択等、詳細な知識を学びましょう。

※実技山行の行き先は、座学で決定します。

※原則として実技山行のみの参加はできません。ただし、やむを得ない事情で座学の参加ができない場合は相談に応じます。座学のみ参加も歓迎します。

県連交流山行

～日本一低いアルプスを縦走しながら、他会との交流を楽しみましょう～

例会山行2 兵庫の山 《小野アルプス 紅山》 182m

【日 程】10月29日（日） （L 杉森）

【集 合】大和西大寺駅南口 7:45 集合／8:00 出発

【コース】鴨池公園～(35)～紅山～(55)～惣山～(25)～総山～(10)～アザメ峠～(50)～愛宕山～(45)～高山～(20)～白雲台温泉「ゆぴか」

【参加費】4,000円前後。参加人数により増減あり。温泉代 550円別途

【雨天時】警報が出ない限り、雨天決行です。雨天の場合、アザメ峠にバスに来てもらい、「ゆぴか」に行き温泉に入り、懇親会を考えています。足湯もあります。

【定 員】45人（大型バス正座席）

※歩行時間：約4時間

11月度山行計画

～色づく山々、風になびく黄金色に輝くススキ～
ゆっくり登りながら秋を満喫しましょう

一般の方の参加歓迎です！

会員の皆様、お知り合いの方をお誘いください!!

公開山行

例会山行1 金剛山地 《葛城山》 959.2m（天狗谷コース）

【日 程】2017年11月12日（日） （L 橋本）

【集 合】上牧駐車場 7時30分

【コース】天狗谷道～キャンプ場～葛城山頂上～水越峠

※歩行時間：約3時間30分

西大和山の会 カレンダー

10月			11月		
1	日	例会山行1《柳生街道》(村田)	1	水	
2	月		2	木	
3	火	県連・理事会	3	金	
4	水		4	土	
5	木		5	日	
6	金	教育講座 第2回座学(藤本)	6	月	
7	土		7	火	県連・理事会
8	日		8	水	
9	月		9	木	
10	火		10	金	教育講座 第3回座学(藤本)
11	水	県連のあり方検討委員会	11	土	
12	木		12	日	例会1 公開山行《葛城山》(橋本)
13	金		13	月	
14	土	教育山行《テント泊》(野路)	14	火	
15	日		15	水	
16	月		16	木	
17	火		17	金	
18	水	西大和つうしん原稿締切	18	土	県連・初級登山学校・実技
19	木		19	日	教育山行《歩行技術》(野路)
20	金		20	月	
21	土		21	火	
22	日		22	水	西大和つうしん原稿締切
23	月		23	木	
24	火		24	金	
25	水	10月度・室内例会	25	土	
26	木		26	日	例会山行2《六甲縦走・東コース》(亀高)
27	金		27	月	
28	土		28	火	
29	日	例会山行2 交流山行《小野アルプス》(杉森)	29	水	11月度・室内例会
30	月		30	木	
30	火				

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	9/27	10/1 例会 1	教育講座		10/29 例会 2			
		室内 例会	柳生 街道	10/6 座学	10/14-15 テント泊	交流 山行			
1	(窪田)								
2	都築		△						
3	藤井		○						
4	(石田)								
5	田中悦		○						
6	島崎		○						
7	田中初		○						
8	村田		LO						
9	林		○						
10	辻		○						
11	勝尾		○						
12	藤本		○	講師					
13	杉村		○						
14	高橋								
15	玉越								
16	阪口		△						
17	橋本		○						
18	今井		△						
19	亀高		○						
20	船江		○						
21	野路		△	L	LO				
22	中		○						
23	杉森		○			LO			
24	上田								
25	永井								
26	川田		○						
27	高岡		○						
	合計		17						
	緊急 連絡先		永井						

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

夏山自主山行 北アルプス

槍ヶ岳 3,180m～大喰岳 3,101m～中岳 3,084m～南岳 3,033m

【日程】8月16日(水)～20日(日)

【参加者】L 亀高・SL 杉森・船江(3名)

8月17日(木) 晴れのち曇り

【コースタイム】上高地バスターミナル(5:30/6:20)～明神(7:15)～徳沢(8:14)～新村橋(8:46)～横尾山荘(9:34/10:00)～一ノ俣(10:48)～槍沢ロッヂ(11:37)〔泊〕

上高地バスターミナルより梓川左岸道を明神方向に出発する。爽やかな朝の空気を吸いながらカラマツ林を歩く。何十年ぶりの上高地なのでウキウキした気分である。明神で休憩、少し歩くと徳本峠への分岐がある。徳本峠は昭和8年まで上高地への唯一の登路であった。徳沢、新村橋を経て横尾に着く。横尾大橋の後に国内最上級の岩場、屏風岩が聳っていた。

19 日下山時に宿泊の横尾山荘に荷物を預け、槍沢ロッヂを目標として出発する。直ぐに幅の狭い登山道になる。梓川の清流を眺めながら、木洩れ日の森の中を歩くのは気持ちが良い。右手よりワサビ沢や槍見沢を始めとする流れを数本横切る。槍見河原から槍の穂先が見えるのを期待したが、残念ながら何も見えなかった。立派な橋が架かる一ノ俣、二ノ俣を過ぎ、少し登りの傾斜が出てくる道を進むと本日の宿泊地、槍沢ロッヂに着いた。

槍沢ロッヂに到着



8月18日(金) 雨

【コースタイム】槍沢ロッヂ(4:10)～ババ平(4:43)～大曲(5:13)～天狗原分岐(6:16)～槍ヶ岳山荘(9:07/48)～中岳(10:53)～天狗原稜線分岐(12:01)～南岳(12:22)～南岳小屋(12:30)〔泊〕



雨の中、槍ヶ岳に向けて出発

前日は晴れを信じて早めに就寝したが、3時に起床すると前日の好天が嘘のような本降りの雨。出発時刻の4時になっても止まず、少し待ったものの雨脚は変わらないため、朝・昼二食分の弁当を持って、キャップライトを点け、雨具を纏い、意を決してロッヂを後にした。夜が明けて明るくなってもガスが濃く展望なく、ひたすら登る。大曲辺りで時折雨が止んだところで朝食の弁当のちらし寿司を頬張る。が、また降り出して弁当をしまう、

を繰り返す。まさに行動食。山頂が近づくに連れて斜度が急になり、息が切れる。槍の肩まで1,500mの箇所から100mごとにカウントダウンの数字が岩に直接白ペンキで書かれており、展望がない中で、山頂に至る唯一の便(やすか)となる。最後の方は200m毎に小休憩をとりつつ、ようやく9時過ぎに槍の肩に建つ槍ヶ岳山荘に喘ぎながら到着した。濡れた体が寒く、山荘で500円也のココアで温まる。ガスが濃く槍の穂先は全く望めない。槍ヶ岳を登頂する予定だったが、明日の天候回復と大キレット踏破を優先し、体力を温存するため、展望のない槍ヶ岳山頂をスルーし、中岳・南岳へと向かう。

南岳小屋に続く縦走路に入っても天候は変わらない。風で霧が吹き付けられ、拭いても拭いても眼鏡に細かい水滴が付着して、ガスで曇った視界がさらに低下するのには閉口した。縦走路から少し外れている大喰岳3101mは、ピークを踏むことなく、いつの間にか通り過ぎていた。濡れた二段梯子を滑らないよう気を付けて登ると中岳山頂だが、やはり展望はゼロ。天狗原への分岐あたりで、空が少し明るくなったものの、南岳でも展望はなく、昼過ぎに南岳小屋に到着し、本日の山行は予定完了。本日も最後尾を歩いたが、先を行くお二人の脚力は大したものだった。槍ヶ岳山頂往復を省略したこと



中岳手前の二段梯子

や、眺望もなく黙々と歩いたこともあり、予定より2時間半も早い到着となった。

南岳小屋で、朝食と同じ槍沢ロッヂのちらし寿司弁当を食べ、無事の到着と明日の天候回復を祈ってビールで乾杯した。天気予報では本日夕方から雨が上がり、明日は午前曇り、午後は晴れの予報。雨が降ってなければ、大キレットにチャレンジすることを皆で確認し、早めに就寝した。

(記：亀高茂)



ガスの中、南岳小屋に到着

8月19日(日) 雨のち曇り

【コース】南岳小屋(6:10)～南岳(6:18)～天狗原稜線分岐(6:32)～中岳(7:30)～大喰岳(8:10)～槍ヶ岳山荘(8:40/9:00)～槍ヶ岳山頂(9:18/30)～槍ヶ岳山荘(9:48/10:00)～天狗原分岐(12:11)～大曲(12:52)～ババ平(13:20)～槍沢ロッヂ(13:40/14:20 昼食)～一ノ俣(14:57)～横尾山荘(15:50)〔泊〕

いよいよ今回の最大のミッション、大キレット越えの日。夜中に何度か目が覚め、朝食時も緊張して箸が進まない。朝食後のTVで、濃霧注意報が出ていることを知る。外に出てみると確かに視界10mの濃霧。出発時刻ギリギリまで迷った末、安全第一と撤退を決断する。雨の為に登頂をスルーした槍ヶ岳へ向かうべく、昨日踏

んだルートに戻ることにした。

南岳を過ぎ中岳に向かう途中に、切れ落ちた岩場の崖がありプチキレット感を楽しむ。中岳を過ぎた頃には西風と小雨が降りだした。せっかくの稜線歩きも、ただ真っ白な中を歩く。この状況では、大キレットの撤退は正しかったのだと感じた。途中、前日に登り逃していた大喰岳にも無事登頂。大喰岳は百高山の一つであると、南岳小屋で同部屋だった方に教えてもらったが、ピークを見つけにくい山だった。

槍の肩に到着しても、目の前の槍の穂先はガスの中。雨でも登る！と決めていたので、ザックをデポし槍穂へ踏み出す。登る人が少なかった為、あっけなく18分程で穂先へ到着。巨大なジャングルジムみたいな印象だった。

昨日雨の中苦勞して登った槍までの道は、下るとつれ青空になり、何度も後ろを振り返り美しい槍ヶ岳の雄姿を仰いだ。昨日は歩を進めるのみで気づかず過ぎていた足元の可愛い花、遠くに見える蝶ヶ岳の稜線、グリーンバンド周辺に広がるカーラー帯の美しい



槍ヶ岳に至る鎖場を登攀

緑、雪渓の白が太陽に照らされ眩しい。山の天気次第で、こんなにも景観が変わるとは。アルプスの自然を堪能するには、やはりお天道様のご機嫌次第だなあ、と痛感した。

今回は刻々と天候の予測が変わり、天候判断が非常に難しかった。あと半日、天気の回復が早ければ、大キレットを通過し北穂を踏むことが出来たであろう。複雑な想いを抱えながら横尾までの長い行程を下山となった。

(記：船江照代)



槍ヶ岳山頂にて

8月20日(日) 晴れ

【J-Style】横尾山荘(7:05)～徳沢(8:06)～明神(9:09)～岳沢分岐(10:35)～上高地バスターミナル(11:11/15:40 上高地散策)⇒(さわやか信州号)⇒京都(21:00)

晴天の中、上高地に向けて横尾山荘を出発する。天候が前に一日ズれていれば大キレットを通過できたのに……。でも、今回下見出来て良かったと自分に言い聞かせ、リベンジすることを心に誓う。雄大な穂高の稜線を飽きるほど眺めなが



横尾付近からの展望

ら歩く。これまで穂高連峰を何度も見てきたが、前穂、奥穂、北穂などの位置関係があまり分からなかった。今回、前穂以外はよく見えなかったが、地図と照らし合わせて大まかな位置関係を掴むことができた。



明神から梓川右岸の木道を行く

明神分岐から梓川右岸道を歩く。自然探勝路とも言われており、上高地の自然を楽しめるプチトレッキングコースである。穂高神社奥宮に寄り、明神池を外側から覗く。木道、湿地帯、梓川の清流などを十分楽しみながら岳沢登山口に着く。岳沢湿原より穂高の稜線が望めるはずだが、今回も雲に覆われて見えなかった。河童橋を渡り、ようやく上高地バスターミナルに着いた。休憩後、預所に荷物を預け大正池まで散策に出かける。マガモの親子の睦ましい様子に微笑んだり、お猿の親子が目の前に突然現れてびっくりした。大正池に着き、焼岳、大正池、立ち枯れの木を背景に定番の写真を撮る。以前より立ち枯れの木がかなり少なくなっていた。時間の経過を考えると止むを得ない事かも知れない。筋肉痛の脚を引きずりながらも楽しい散策であった。(記: 杉森英二)

夏山自主山行

北アルプス 針ノ木岳 (針ノ木小屋)

【日 程】8月23日(水)～24日(木)

【参加者】L 島崎・杉村・野路・中(4名)

8月23日(水) 雨一時曇り

【コ-ス仏】扇沢駐車場(6:10/30)～大沢小屋(7:50/8:00)～雪溪アイゼン装着(8:45/55)～雪溪終(9:53)～針の木小屋(11:30)

時雨の扇沢から針の木岳登山口へ、3度の舗装路を横切り針の木岳遊歩道へ。色鮮やかなブナ林をすすむ、段々と雨脚が強くなり、岩は滑りやすく、道は泥土となり大沢小屋に着くころには、雨具はびしょびしょとなっていた。

気を取り直しアップダウンのある樹林帯をもくもくと歩き、急流にかかっている頼りない橋？を慎重に渡り雪溪に取りつく、アイゼンを付け一本の赤色に付けられている踏み跡を頼りに上る



途中で一旦左岸へ、アイゼンを付けているので少し歩きづらかった。そして雪渓に戻り今にも流されそうな丸太の橋？を渡り今度は右岸へ、ここはだいぶ雪渓が崩落しているため高巻道の急登の岩場をアイゼンを外して通過。針の木小屋まで砂礫の急斜面をジグザグに登ったが、風雨で疲れた体は冷え切っていた。其の夜は大雨になった。

昔から念願だった黒部ダムから見える稜線を歩きたかった。そして山頂から眼下に見える黒部湖を見たかった。またいつか・・・



(記：杉村好子)

8月24日(木) 雨

【コース】 針ノ木小屋(7:55)～最終水場(8:20)～雪渓入口(9:20)～大沢小屋(10:15/30)～扇沢(11:40/12:30)⇒温泉(12:45/14:00)⇒佐味田(21:00)

願いも空しく、雨は夜半から益々強くなり、5時半のスタートを遅らせ6時前の天気予報を確認してからの行動となる。残念なことに天気予報は今日、明日ともに強風と雨である。下山することになった。

7時から小屋の中で「若一(にゃくいち)王子神社奥宮祭事」が執り行われるとのこと。偶然にも年一回の祭事に巡り合い、参加させて頂けることはとてもラッキーなことで、それからの出発と決まった。奥宮は蓮華岳の頂上に祭られている祠で行われるはずが、雨の為、小屋の中で行われた。大町の若一神社から宮司さんお二人が来られてご祈祷や玉串を奉納してお祓いをして頂き、今後の山行の無事をお祈りしました。

雨風の強い中、針ノ木小屋を後にして、昨日登って来たコースを再び下山する。あまりにも多い渡渉なので、数を数えていたが途中からは分からなくなってしまったが15、6か所ぐらいはあったのではと思う。昨日よりは水嵩も増していて慎重に渡渉を繰り返し扇沢へ下ると、関東から来ていた中



中学生・高校生も種池山荘から引き返したとのこと。扇沢から車で10分も走ると晴れていて、山頂の雨風が嘘のようなお天気であった。町と山頂ではこれ程お天気が違うと言うこと、また山の天候の怖さのようものを再認識しました。

「若一王子神社」：大町市にあり、古くは「熊野大権現」に詣でて、第五殿に祀られている「若一王子」を勧請して「若一王子の宮」と称されました。神仏習合の由緒ある大社です。また、奥宮は蓮華岳(2,799m)の頂上にあり、毎年8月下旬に祭事が執り行なわれるそうです。

(記：野路政子)

例会山行2 県連救助隊主催・広域搜索訓練

台高山脈 三峰山周辺

【日程】9月3日(日) 晴れ

【参加者】CL 藤本(本部担当)・SL 田中悦(搜索C班リーダー)・林・橋本・船江・上田・永井・高岡(計8名)/他会32名: 総計40名

【コース】搜索C班: みつえ村青少年旅行村第二駐車場→搜索本部(10:25)～学能堂山登山口(10:40)～小須磨峠(11:40)～遭難パーティー目印発見(11:50)～昼食(12:05/30)～学能堂山登山口(13:40)～搜索本部(13:55)

今回初めて参加した県連搜索訓練は、某パーティーが三峰山周辺で予定下山日に下りてこず、遭難したと仮定し、搜索するものだった。青少年旅行村駐車場には搜索本部が設置され、「実際に遭難事故が発生した場合、事故一報から搜索開始までは情報収集、事務局、各会連絡などで最短でも3日はかかる」、一刻も早い遭難者発見、救助が求められる。本部から搜索範囲(A:上村から北尾根往復、B:三峰山週回、C:上村から学能堂山往復)3コースの指示がでる。西大和山の会は、オオヤマレンゲ山の会、JAC、やまと山遊会との混成の計13名で、Cコースの学能堂山方面を担当。

本部を出発、本番のつもりで搜索にあたる。普段は頂上目指してハイキング、登山を楽しんでいるが、搜索訓練という事も少し緊張する。登山道に入り、地図、GPSを頼りに各自山の地形や全体を見渡しながらい迷いそうな場所とはどんな所か? 脇道、分岐では上り、下りで見え方が変わり危険ではないか? 道標はあるか? などなど、ゆっくりと時間をかけメンバー全員注意しながら遭難者を探す。

小須磨峠で小休止、ここは学能堂山と三峰山北尾根の分岐でもある。各班のリーダーはトランシーバーを携帯し、各コース班と連絡を取り合う。遭難者発見はまだ

ない。「遭難者はこの峠を見間違えて、誤った方向へ行ったのかな? 道がはっきりしないな～」そのうち後方から三峰山北尾根搜索A班の姿が見えたので北尾根方面はおまかせし、再び搜索開始。

峠から歩くこと10分程で学能堂山方面への稜線出合にさしかかる。杉木立の間から頂上への急な上りが見える。地面は杉の枝と枯葉で広々としている。さあ頑張ろうかと足元をみ



ると、うっすらと稜線から下っていく踏み跡が目に入った。全員ここで立ち止まり、「これは何処へ行く道でしょう？ 分岐案内もない、気になりますね」「ちょっと確認してくるわ〜」、数分後「あったよ〜」「見つけたよ〜」発見現場に向かう。稜線を30メートルほど下ったところで枯れ木に黄色のテープが巻きつけられていた。

リーダーが無線で遭難者発見を知らせる。道迷い、遭難につながったと思われる状況を考える。①登りでは頂上を目指して登る為、下りの道に注意が薄い。②分岐注意の赤テープが3か所もついていたが下り目線の道が開けているとそちらへ行きやすい。③平らな場所では道がわかりにくい。

頂上未踏のまま昼食を済ませ、登山口に戻る。捜索班に怪我もなく捜索終了。この広域捜索訓練も今回で10回目。各会から総勢40名が参加した模擬捜索だったが、実際はどんなだろうか？ 考えると怖い。捜索回数が少しでも減る様に願う。また、捜索される側にはならない様にしたいと思う。これからも緊張感をもって登山を楽しもう。いい勉強になりました。

(記：上田雅子)

夏山自主山行 北アルプス

西穂高岳 2909m〜ジャンダルム〜奥穂高岳 3190m

【日 程】9月9日(土)〜12日(火)

【参加者】L 島崎・杉村・野路(3名)

9月9日(土) 晴れ 歩行時間：1時間10分

【コースタイム】佐味田川駅(6:00)⇒山荘錫杖(11:30)⇒しらかば平・ロープウェイ乗り場(12:00/45)⇒西穂高口(12:52/13:20)〜西穂高山荘(14:20)

佐味田川駅を出発、事故などにも合わず、無事、山荘錫杖前に到着。女将さんにロープウェイまで車で送って頂き、昼食をすませて、ロープウェイで西穂高口まで。西穂高口で30分ほど高度に体を慣らしてから歩き出す。

6月、雪が残っていた登山道はすっかり夏道となって、周りの景色も感覚も違って見える。まだまだ急登が続くと思っていたら、突然西穂高山荘が見え、余りにも近いので驚いた。全く前回と違うのは・・・時間と途中すれ違う人の多さ・・・それは西穂高山荘でも同じで、小屋は人々で溢れ混雑していた。

小屋で偶然にも出会った人がいた。今年3月、ツアーに参加した時の「カイドさん」で、ツアーで2回、ほか雪彦山、葛城山と続き、今回で偶然が3回も重なり・・・縁を感じる。しかも部屋も同じで・・・ジャンダルムへのガイドで来ていた。部屋で明日のジャンダルムの事を色々尋ねたり・・・教えて頂いたりした。

明日はいよいよジャンダルムへ・・・何度も何度も岩稜訓練を重ねてきたので、不安はなかった。いつも通り、落ち着いて行動をすれば大丈夫。その夜は早く寝ようとしたが、全く眠れず・・・翌日は3時間の睡眠で行動することになった。

(記：野路政子)

9月10日(日) 晴れ後曇り 歩行時間：12時間(休憩含む)

【コース】西穂高山荘(4:00)～独標(5:20)～西穂高岳(7:00)～間の岳(8:40)～天狗岩(9:45)～天狗の科尔(10:33)～ジャンダルム(13:00)～ロバの耳(13:45)～馬の背(14:40)～奥穂高岳(15:00/20)～穂高岳山荘(16:00)

既にかなりの方が準備をしている中、4時発、独標付近で薄曇りとなる。西穂高岳までは、6月経験済みであるので、少し余裕がある。10峰を越え、主峰の西穂高岳到着、風があり、寒いが天気である。前回少し行ってはいるが、いよいよここから、本番で、気を引き締めて行く。



間の岳山頂にて

間の岳の前後は浮石が多く、基本の3点確保に努めながら、

慎重にアップダウンを繰り返し、間の岳へ到着。西穂高岳が遠く見える。天狗岩から逆層スラブへ、かなりの高度差である。鎖を使って、登りきると天狗の頭へ。ここから30m程下るが、かなり難しい。慎重に、慎重に下ると、天狗の科尔到着。

昼までに降りられれば、いいとのことであるが、10時30分である。これはすごいと思っただ、ここまでの話で、ここからがえらく時間がかってくる。科尔から畳岩と呼ばれる大きな1枚岩を登って行きます。ピークを幾つも越え、マークが見えづ

らく、まさにルートファインディング状態で、ガスっていても、道迷い必至のルートでもある。それでも、左右・上下と確認しながら、登りきると、遂に見えました。あのジャンダルムです。本当にほっとしました。

只、聳え立つジャンダルムでは無く、ずんぐりとした岩峰である。科尔からネットで見た、ジャンの文字、ペンキがあるある、ありました。ザックを置いて、登りきると、有名な山の天使がありました。そして、山頂から遂に奥に奥穂高岳が見えました。



ジャンダルム山頂より奥穂高岳を望む

いやーよくぞここまで来られたものだと感激ひとしおですが、ここからが核心部のロバの耳・馬の背が見えます。兎に角、この2峰を登りきらないと、奥穂高には着きません、気を引き締めて、長野県側へ回って下って行き、振り返れば、あの聳え立つ、勇壮なジャンダルムが見えました。そして、いよいよロバの耳を登ります。



ロバの耳を登る

下りが難関でした。そして、目の前にウマノセの文字が見え、いよいよ最後の難関部にきました。ナイフリッジ 50m を、這ってでも登りきる覚悟で、慎重に登ります。滑落すれば、一巻の終わり。3人共かなり疲れています。ここは気持ちを振り絞って、登攀!! 遂に登り切りました。目の前が奥穂高岳です。目頭が熱くなって、こみあげてくるものがあり、只、只、感動するばかりでした。お二人の頑張りには感謝の一念です。よくぞ、ここまで頑張ってきてくれました。只、残念ながら、ガスって勇壮なジャンダルムは見えません。後は慎重に下って穂高岳山荘へ。16時、西穂高山荘からちょうど12時間かかって無事到着です。お疲れ様でした!! そして、本当にほっとしました。

《信頼できる仲間と山に挑戦できる事は、普段以上の力が発揮できるものである》との言葉を改めて、思い出しました。

所感

- 10日天気が良かったこと。(午後からはガスってきた)
- 風が強くなかったこと。(午前中、風はあり、寒いので、ポカリ 2L 持参したが、1L しか使用せず) 暑い時期、最低 2L は必要であり、体力の消耗度があがりそう。(天候重視で予定より、1週間ずれました)
- 下りはかなり慎重に降りなければ、やばい処あり。Oマーク通りには降りられない。
- ジャンダルムに向かう途中、ルートファインディング状態でガスっておれば、道迷いの可能性大です。
- 西穂山荘4時出発～穂高岳山荘16時着と時間に余裕があったこと。
- 昨年、大キレット～奥穂高岳走破、登攀訓練・夏山山行(2回以上)等、積み重ねがよい経験になりました。
(記: 島崎隆)



馬ノ背登攀

9月11日(月) 曇り 歩行時間: 9時間(休憩含む)

【コース】 奥穂高山荘(5:35)～ 涸沢ヒュッテ(7:25 / 50)～屏風のコル(8:50 / 9:00)～屏風の耳(9:25)～屏風のコル(9:45)～慶応尾根～新村橋～徳沢園(12:25)～上高地(14:20)～上高地(13:30)⇒(タクシー)⇒山荘錫杖(16:00)

ザイテングラードを下山し、涸沢ヒュッテにて、パノラマコースの通行確認をする、2週間前まで通行止めであったパノラマコースを下山に使った。ロープ、橋など新しく作られていたが、未だ補修中であるのか崩れていた箇所も多く注意しながら通過した。

屏風コルまでの幾つものアップダウンを登る。ガスがなければ槍方面そして反対側の常念・蝶が岳の稜線展望をみながらだが、この日は残念、また紅葉時は最高の景色を見ることが出来るのだが・・・屏風のコルに荷物を置き、耳までピストンをする。

ザレ場、岩の多い慶応尾根コースは人も少なく、会ったのは1組だけだった。新村橋を渡るといつもの賑やかな香りがする上高地へ。ジャンダルムへの制覇をひしひしと感じた。

(記:杉村好子)



例会山行1

兵庫の山 雪彦山 915m

【日程】9月10日(日)曇り

【参加者】L 船江・SL 辻・藤井・田中悦・橋本・亀高・杉森・永井・高岡(9名)

【コース】登山口駐車場(8:03)～行者堂跡(8:32)～出雲岩(9:08)～覗岩/セリ岩(9:25)～大天井岳(9:55/10:05)～雪彦山(10:50/55)～鉾立山(11:17/55 昼食)～P942(12:02)～ナメ滝(12:37)～虹ヶ滝(12:45)～展望台(13:20/25)～登山口駐車場(13:50)

本会に入会間もない頃に例会山行で参加し、今回二度目の雪彦山。狭い岩を通過したことぐらいしか覚えていなく、登れるのか少し不安に思いながらの参加となった。

この日は登山日和、各自準備体操後出発。登り始めから厳しい急登が続き、出雲岩からはロープ、クサリ場の岩稜歩き。通り抜ける事が出来るのか不安を胸に、リュックを擦りながらセリ岩を通過し、大天井岳、雪彦山へと変化に富んだ登山道を登りピークを踏んだ。下山道は、木の根っこの露出、苔むした滑りやすい岩、数回繰り返す渡渉等、最後まで気が抜けなかった。

下山後は、すぐ近くの「雪彦温泉」に入りすっきり。好天の秋の一日を楽しめた山行だった。5月の自主山行でヒルが多かったとの情報、今回は万全なヒル対策が講じたのか全盛期が過ぎたのか心配していた被害はなく、好天の秋の一日を楽しめた山行だった。





山行中のヒヤリハット

- ・下山時先頭者に「ここ滑るから注意！」と声がけしてもらっているのに、すぐ後ろを歩いていた私はきちんと滑り転んでメンバーにヒヤッとさせてしまった。注意散漫反省です。
- ・1名体調不良により山行を続けるのは困難と本人が判断し、大天井岳から下山することになる。経験豊富なメンバー1名が付き添い下山することにしたが、行き違いで別々に下山してしまったが、大事には至らなく登山口迄戻った。

(記:橋本紀子)

室内例会だより

【日時】8月27日(日) 14:00~16:00 事務所

【出席者】都築、藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、杉村、阪口、橋本、今井、亀高、船江、野路、中、杉森、永井、川田、高岡

1. 山行計画

- 9月3日(日) 例会山行 2 広域捜策訓練・台高の山《三峰山一帯》………L 藤本
- 9月10日(日) 例会山行 1 兵庫の山《雪彦山 915m》………L 船江
- 9月23日(土)~24日(日) 例会山行 2 (テント山行)八ヶ岳《赤岳 2,899m》…L 亀高
- 10月1日(日) 例会山行 1 柳生街道《剣豪の里 滝坂の道》………L 村田

2. 山行報告

- 7月2日 例会山行 1 大峰山脈《八経ヶ岳》L 辻………12名
- 7月4~11日 自主山行《羊蹄山・礼文・利尻岳・雨竜沼》L 島崎………5名
- 7月9日 例会山行 2 台高山脈《迷岳(飯盛山周回)》L 藤井………6名
- 7月13~16日 自主山行 北アルプス《焼岳 2,455m・乗鞍岳 3,026m》L 藤井……4名
- 7月16日 例会山行 2 比良の山《権現山 996m・蓬莱山 1,174m》L 野路……6名
- 7月26~29日 自主山行《白馬岳・雪倉岳・朝日岳》L 辻………3名
- 8月6日 例会山行 1 京都北山《雲取山 911m》L 勝尾………6名
- 8月9~12日 自主山行 八ヶ岳縦走《編笠山~赤岳~丸山》L 島崎………5名

3. 山行中のヒヤリハット報告

- ①7月2日例会山行(八経ヶ岳): 必須装備品の雨具を持っていないメンバーが1名いたので途中で購入した。また下山が17時頃となった。季節によっては、問題が生じることも考えられる。例会山行参加に当たっては、歩行レベルを知り参加してもらうようにすると共に新人教育が必要だった。
- ②7月4日~自主山行(北海道): 1日目の「羊蹄山」山行前日より左目あたりが腫れだした。山行当日、次第に左顔全体がひどくなり、下山時には視野が狭くバランス悪くなり転倒する。下山後、総合病院を受診して薬を処方され、回復へと向

い、その後は計画通り山行が出来た。

③7月13日～自主山行(焼岳・乗鞍岳)：焼岳山行で太もも痙攣。10分程で収まったが、不安を感じながらの下山となった。

④7月26日～自主山行(白馬岳・雪倉岳・朝日岳)：1年ぶりの登山となるメンバーが1名参加。歩行に大変不安を感じた。各自が日頃のトレーニングを怠らないようする事はもちろんだが、リーダーはメンバーの状況を知って、参加か否かを判断しないとイケないと思う。

⑤8月9日～自主山行(八ヶ岳縦走)：岩稜帯が多く疲れが出て、同行者に迷惑をかけた。

4. 連絡その他

★県連関係

- ・9月10日(日)登山ハイキングセミナー実技山行Ⅳ 【行先】住塚山～国見山
参加者：藤本さん(本会例会山行と重なるため、1名の参加となる)
- ・県連交流山行10月29日(日) 担当/こぶしの会
【行先】小野アルプス 紅山182m・惣山198m

★本会から

- ・今後室内例会では、山行時のヒヤリハットの報告をしてほしい。皆で共有して事故の防止に繋げたい。
- ・下山時報告について
宿泊を伴う山行で、縦走ではなく何座も登攀する場合、下山した時には緊急連絡先に必ず下山報告をしてください。
- ・9月16日(土)13:00～運営委員会

【近況報告】

阪口さん：手術後痛みも徐々に治まり、だいぶ楽になってきています。

今井さん：少しずつウォーキングが出来るようになってきています。

以上報告ありました。

(記：橋本紀子)

運営委員会だより

【日時】2017年9月16日(土)13:00～16:40 事務所

【出席者】島崎、辻、勝尾、藤本、杉村、橋本、亀高

1 会則、山行規定等の見直し、改定案について

- ・西大和山の会 会則
- ・西大和山の会 山行規定
- ・細則1 車両利用に関する規定
- ・細則2 山行計画及び山行報告の会報・ホームページへの掲載規定
- ・細則3 西大和山の会 遭難対策規定
- ・細則4 西大和山の会 遭難対策基金運用規定

以上について、会報部長が作成した改定案の内容を検討した。今後、検討内容に基づいて修正し、来年度より施行できるよう進める。

2. 来期の役員選出について

来年度は役員改正の年となる。12月9日の運営委員会で次期役員を決定しスムーズに引き継ぎが出来るように努める。

3. 教育部の体制について

会員に対する教育を2年にわたり藤本さんが計画的に進めてくださっているが、教育部長の負担と能力に負うところが大きく、今後、同じ形で継続して行っていくのは困難なため、取り組み方考える。

- ・初級登山学校（旧ハイキングリーダー学校）の修了生が3人程でグループを形成し本会に合った教育内容で進めていくようにする。
- ・県連加盟の各会で色々な技術を持った方々が、県連所属会会員向けに実技教育を行うことを現在検討中。

4. 公開山行について

今年通りの内容で公開山行を行う（一般公募せず知人、家族の範囲で実施する）。実施時期：年1回秋に行う。

県連加盟の他会においても公開山行での会員の獲得は難しい状況。奈良労山は新会員獲得のために教育をセットにした公開山行を行っている。

5. 例会山行の日程に自主山行を計画する事について

最近は山行が多様化し、自主山行も多く計画されている。自由に計画できるよう、制約は設けない。

6. 例会山行について

例会山行1は、今期活動方針において「会員の親睦を目的とし、比較的歩行時間が短く、体力や年齢を問わず会員誰でもが誰もが参加できるハイキング的な山行」となっているが、その趣旨に合っていない山行がされている場合もあるので今後改善していくようにする。

7. 共同装備品について

山行リーダーは、山行後の装備品の所在を必ず次の山行リーダーに連絡する事。使用しないものについては、速やかに事務所に返却の事。

8. 県連のあり方検討会からの報告

- ・県連への要請・・・岩稜歩行、岩登りの実技を提出。
- ・理事選出について

本会から常任理事を出すことは難しいが、代表理事は1名選出する。県連の活動内容など知って頂くために会長が出るのが望ましい。

- ・会計について

「こぶしの会」が脱退したことに伴い、「オオヤマレンゲ」、本会3会での持ち回りで担当する件については見直しする。

次回運営委員会 12月9日(土)13:00～

(記：橋本紀子)

西大和つうしん

第 424 号 (2017 年 10 月号)

2017 年 9 月 27 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>